

防災教育・周知啓発ワーキンググループ 災害ボランティアチーム (第6回) 議事要旨

1. 日時

令和3年5月21日(金) 17:00~17:45

2. 出席者

栗田座長、窪田委員、阪本委員、菅委員、高橋委員、明城委員

関係省庁 [消防庁、厚労省]

赤澤副大臣、青柳政策統括官(防災担当)、村手官房審議官(防災担当)、内田官房審議官(防災担当)

3. 議題

- (1) 開会挨拶
- (2) 内閣府防災担当から説明
- (3) 意見交換
- (4) 閉会

4. 議事要旨

冒頭、赤澤副大臣から、「我が国では、「防災・減災、国土強靱化新時代」を迎えたと謳ってよい環境。「ボランティア元年」と言われた阪神・淡路大震災が発生した1995年から四半世紀以上が経った今、新しい仕組み・体系を導入して、防災人材の育成と地域防災力の強化を飛躍的に加速するエコシステムを生み出し、力をつけてきたボランティアの皆様が社会からも認知をされ、後進が育つような流れをつくりたい。また、コロナ禍下では、地域内でボランティア人材を育成する必要がある。」旨の挨拶があった。

続いて、防災教育・周知啓発WG災害ボランティアチーム提言(案)について、事務局から前回の議論を踏まえた変更点について説明があった。その後、各委員からいただいた主な意見は以下のとおり。

- 「5. ボランティアの有償性」の部分だが、『ボランティア』という言葉だと、ボランティアをする主体としての意味も含まれてしまうので、「5. ボランティア活動の有償性」と変更した方がよい。
- 「夥しい」の読みが難しいと思われるので、「おびただしい」と平仮名表記に変更した方がよい。

その後、提言(案)は大筋了承され、最終的な文言の詳細は座長一任となった。